

「つよさ」を育むために、学校と家庭で大切にしたいこと。

「みなさ～ん、すばらしいですねえ。 拍手しましょう。」



本日、インドネシアとカンボジアからお客様をお招きしました。インドネシアからはナショナル大学の学生と教員、カンボジアからは王立プノンペン大学の学生と教員の計6名です。迎えたのは3年生の子供たちです。学生のみなさんは、それぞれの国の文化について画像などを使いながら説明して下さいました。印象的だったのは、やわらかな笑顔と子供たちに対するあたたかい言葉がけでした。

「みなさん、すばらしいですねえ。拍手しましょう。」何度も何度も繰り返しこの言葉を話していました。子供たちのよいところを積極的に認める姿を見て、少し背筋が伸びました。